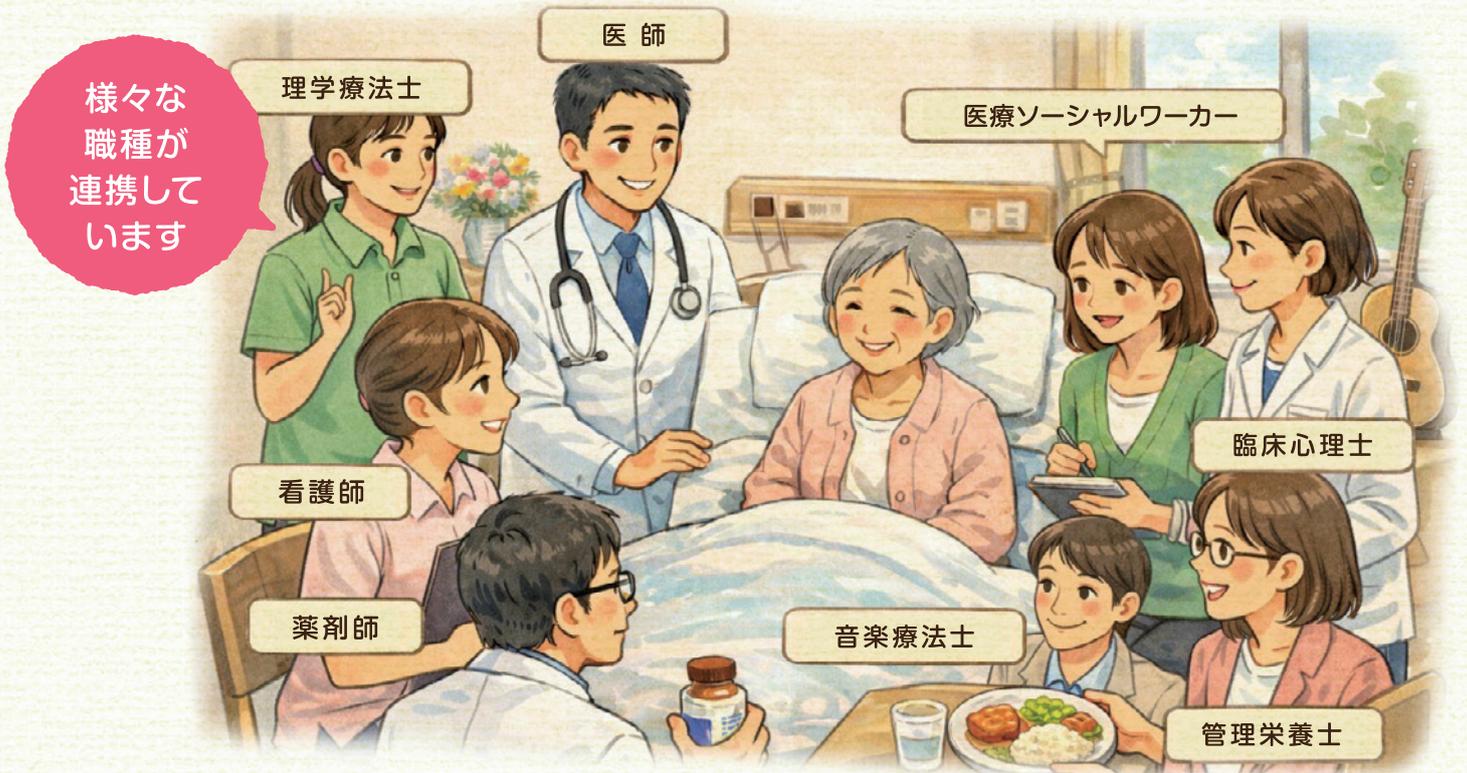
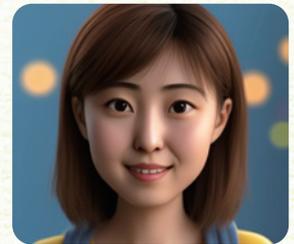


## 医療ソーシャルワーカーのご紹介

現在5名のMSW(医療ソーシャルワーカー)が医療社会科に所属し、病院1階の【医療介護相談室】に配置されています。MSWは緩和ケア外来の初診、面談を予約します。患者さんやご家族の状況を伺い、外来につなげています。緩和ケア外来の面談に同席し、今後の療養生活に関する不安を聞き取ったり、経済的、社会的課題への解決に向けて支援を行います。経済的に医療費の不安がある方が安心して受療できるよう、無料低額診療事業の相談もお受けしています。

当院は在宅療養支援病院として、入院、外来、訪問診療と、多様な療養生活をサポートする機能があります。患者さんのご意向に添って、地域の在宅サービス事業所の方々と連携を取り、安心して在宅生活を送れるよう退院支援も積極的に行っています。またお一人暮らしの方、ご家族の支援が難しい方などに対して、在宅療養中、入院中の生活支援として、銀行の送迎や様々な手続き代行支援など、多職種でチームを作って、支援させていただいています。私たちは、**ソーシャルワークについて継続的に学習を重ねながら、患者さんやご家族の人生に寄り添う姿勢で頑張っています。**これからもお気軽に声をかけていただけるよう努めてまいります。

ソーシャルワーカー科長 野澤由香





# 緩和ケア病棟の2026年 新年



## 大筆パステルアート

今年は午年です。「うま」を逆から読むと「まう(舞う)」となり、祝い事や吉祥の象徴である「舞」に通じることから、縁起が良いとされています。「福が舞い込みますように」という願いを込めて大筆アートを書き、その上にパステルアートを重ねました。患者さん、ご家族、スタッフのみなさんと一緒に、色鮮やかな一枚に仕上げました。一枚の作品に、様々な思いが折り重なりとても尊い取り組みになりました。



## 2026年 初日の出

元旦の日に病室から見る初日の出は、特別なものです。患者さんと一緒に見る初日の出は、新しい年への希望を感じさせてくれました。この瞬間、まさに「一期一会」の感動でした。



### 離れて暮らすご主人へ 患者さんからのメッセージ

遠く離れた施設に入所されてるご主人宛に愛情いっぱいの直筆のメッセージとこの写真を一緒に送りました。ご主人から「髪の毛が伸びて可愛いね」と喜びの言葉。

お気に入りの写真の一枚になったそうです。

